

## 立花家史料館 全展示作品リスト 2018.10.5~2018.12.24

※期間中、茶杓の展示替をします ○印：前期展示 10/5(金)~11/14(水) ◇印：後期展示 11/15(木)~12/24(月)

音声 ガイド	秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 王朝の雅をつたえる香道具			
	名称	ふりがな	時代	作者/産地
	十種香道具	じっしゅこうどうぐ	明治時代以降	—
	薫物(練香)	たきもの ねりこう	不詳	—
	香木	こうぼく	江戸時代初期	—
	香道具(香割道具)	こうどうぐ こうわりどうぐ	江戸時代末期~明治時代	—
	青磁間香炉	せいじききこうろ	中国・明時代	中国・龍泉窯
	青磁雷文間香炉	せいじらいもんききこうろ	江戸時代後期~明治時代	京都
	火舎香炉	ほやこうろ	江戸時代	—
	染付唐子文香炉	そめつけからこもんこうろ	江戸時代後期	長崎・三川内窯
	金梨地秋草蒔絵扇形香盆	きんなしじあきくさまきえ おうぎがたこうぼん	江戸時代後期	—
	秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 茶の湯のなかの香道具「香合」			
S1	屈輪文堆朱香合	ぐりもんついしゅこうごう	中国・明時代	—
	鉄線唐草文蒔絵重香合	てっせんからくさもんまきえ じゅうこうごう	江戸時代後期	—
	樹下人物文堆朱香合	じゅかじんぶつもんついしゅこうごう	江戸時代後期	—
	鉄釉割蓋香合	てつゆうわりぶたこうごう	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
	黄瀬戸香合	きせとこうごう	江戸時代初期	岐阜・美濃窯
S2	染付周茂叔香合	そめつけしゅうもしゅくこうごう	江戸時代	京都
	古染付香合	こそめつけこうごう	中国・明時代	中国・景德鎮窯
	染付唐草文香合	そめつけからくさもんこうごう	江戸時代末期~明治時代	佐賀・有田窯
S3	鉄絵琵琶香合	てつえびわこうごう	江戸時代後期	佐賀・唐津窯
S4	象嵌屏風箱香合	ぞうがんびょうぶばこうごう	江戸時代中期	熊本・八代窯
	秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 名品に感じる「わび茶」の世界			
S5	墨吹茶碗	すみふきちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
	刷毛目茶碗	はけめちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
	三島唐津暦手水指	みしまからつこよみでみずさし	江戸時代初期	佐賀・唐津窯
S6	赤水指 銘 面壁	あかみずさし めい めんぺき	江戸時代初期	伝 楽3代道入
	備前綴目水指	びぜんとじめみずさし	江戸時代	岡山・備前窯
	○茶杓 銘 夜雨 ◇茶杓 筒 玄々斎精中	ちやしやく めい よさめ ちやしやく	桃山時代~江戸時代初期 桃山時代	古田織部 伝 千利休
	筆洗茶碗	ひっせんちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
S7	三島茶碗	みしまちやわん	韓国・朝鮮王朝時代	—
S8	青磁茶入	せいじちやいれ	韓国・高麗~朝鮮王朝時代	—
	瀬戸底面取手茶入	せとそこめんとりてちやいれ	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
S9	糸目播座茶入	いとめるいざちやいれ	中国・元~明時代	—
S10	素焼播座茶入	すやきるいざちやいれ	江戸時代初期	伝 野々村仁清
	肩衝茶入	かたつきちやいれ	江戸時代初期	伝 野々村仁清
	達磨茶入	たつまちやいれ	桃山時代~江戸時代初期	—
S11	蒲池焼風炉	かまちやきふる	江戸時代末期	福岡・蒲池窯
	秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 小さな茶道具「蓋置」			
	蓮の葉被り人形蓋置	はすのはかぶりにんぎょうふたおき	江戸時代	—
	三閑人蓋置	さんかんじんふたおき	中国・明時代	—
	栄螺蓋置	さざえふたおき	江戸時代後期	佐賀・唐津窯
	青磁火舎香炉蓋置	せいじほやこうろふたおき	中国・明時代	—

秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 茶杓に感じる茶人の個性				
	名称	ふりがな	時代 作者／産地	
	○茶杓 ◇茶杓 銘 旬雨	ちやしやく ちやしやく めい しゅんう	江戸時代初期 江戸時代初期	千少庵 一翁宗守
前期 S12	○茶杓 共筒 ◇茶杓	ちやしやく ともづつ ちやしやく	江戸時代初期 江戸時代末期	一尾伊織 小堀宗舟
	○茶杓 共筒 ◇茶杓 共筒	ちやしやく ともづつ ちやしやく ともづつ	江戸時代初期 江戸時代中期	船越永景 野田酔翁
後期 S12	○茶杓 共筒 ◇茶杓 銘 羽簀 共筒	ちやしやく ともづつ ちやしやく めい はぼうき ともづつ	江戸時代中期 江戸時代中期	清水道慶 清水道竿
	○象牙茶杓 ◇象牙茶杓	ぞうげちやしやく ぞうげちやしやく	江戸時代 江戸時代	— —
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 拝領の茶壺				
	唐物茶壺（呂宋壺） 伝 豊臣秀吉より拝領	からものちやつぼ るそんつぼ でん とよとみひでよしよりはிரりょう	中国・明時代	—
	瀬戸茶壺 銘 養老 伝 徳川家光より拝領	せとちやつぼ めい ようろう でん とくがわいえみつよりはிரりょう	江戸時代初期	愛知・瀬戸窯
秋のテーマ展「お茶をたしなみ、お香をたのしむ」 茶の湯のしつらえ				
	一行書「千丈帰心詩巻裏」	いちぎょうしょ せんじょうのきしんしかんのうら	明治40年(1907)	12代柳川藩主・立花鑑寛
	黒漆塗祇園守紋橋紋散らし台子	くろうるしぬりぎおんまもりもん たちばなもんちらしだいす	江戸時代中期	—
	葵紋入皆具 12代鑑寛正室・純姫所用	あおいもんいりかいぐ あきともせいしつすみひめしよよう	江戸時代後期	—
	茄子茶入	なすちやいれ	中国・明時代	—
	青磁唐子文碗	せいじからこもんわん	中国・明時代	中国・龍泉窯
	瀬戸天目茶碗	せとてんもくちやわん	江戸時代	愛知・瀬戸窯
	和歌書	わかしょ	江戸時代後期～明治時代	12代柳川藩主・立花鑑寛
	島物片耳茶入	しまものかたみみちやいれ	中国・明時代	—
	大明竹薄茶器	だいみょうちくうすちやき	江戸時代	—
	献上唐津象嵌雲鶴茶碗	けんじょうからつ ぞうがんうんかくちやわん	江戸時代後期	佐賀・唐津窯
	茶箱	ちやばこ	江戸時代中期	—
平常展示「歴代の武具甲冑～戦の時代～」／「歴代の武具甲冑～泰平の時代へ～」				
	名称	ふりがな	時代 所用者	
P1	伊予札縫延栗色革包仏丸胴具足	いよざねぬいのべくりいろかわつつみ ほとけまるどうぐそく	桃山時代	初代柳川藩主・立花宗茂
P2	金箔押桃形兜【復原】	きんぱくおしももなりかぶと	桃山時代～江戸時代初期	—
	鉄黒漆塗骨牌鉄繫置具足	てつくろうるしぬりかるたがねつなぎ たみどうぐそく	江戸時代初期	2代柳川藩主・立花忠茂
P3	鉄錆地桜文亀甲鉄繫置具足	てつさびじさくらもんきっこうがね つなぎたみどうぐそく	江戸時代初期	3代柳川藩主・立花鑑虎
P4	鉄黒漆塗萌黄糸素懸威最上胴具足	てつくろうるしぬりもえぎいと すがけおどしもがみどうぐそく	江戸時代後期 (1859～1860)	12代柳川藩主・立花鑑寛
平常展示「姫さまの婚礼調度」／「立花家の雛と雛調度」／「立花家伝来の人形」				
	緋羅紗地挟箱掛	ひらしゃはさみばこかけ	江戸時代後期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
P5	唐草葵紋蒔絵挟箱	からくさあおいもんまきえはさみばこ	江戸時代後期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
	葵紋蒔絵長持	あおいもんまきえながもち	江戸時代中期	12代藩主・鑑寛正室 純姫
P6	梅唐草祇園守紋蒔絵女乗物	うめからくさぎおんまもりもん まきえおんなのりもの	江戸時代後期	—
	名称	ふりがな	時代 作者	
P7	有職雛	ゆうそくびな	江戸時代後期	—
P8	牡丹唐草蒔絵雛調度	ぼたんからくさまきえひなちょうど	江戸時代後期	江戸七澤屋製
P9	芥子雛段飾り	けしびなだんかざり	江戸時代後期	江戸七澤屋製
P10	賀茂人形／賀茂人形・起き上がり	かもにんぎょう／おきあがり	江戸時代後期	—
	賀茂人形・裸坊	かもにんぎょう はだかぼう	江戸時代後期	—
	賀茂人形「七福神」・起き上がり	かもにんぎょう しちふくじん おきあがり	江戸時代後期	—
P11	御所人形	ごしょにんぎょう	江戸時代中期～後期	—
	裸嵯峨人形	はだかさがにんぎょう	江戸時代中期	—
	雛調度	ひなちょうど	江戸時代中期	—